



学園通信2019

－2019年度全学協議会に向けて－

要約版

2019年6月

Beyond Borders

R 全学協議会とは何か

・大学を構成する全ての構成員が自治に参加する「全構成員自治」の考え方にもとづいて、学生・院生・教職員・大学（常任理事会）が、教育・研究・学生生活の諸条件について協議するための機関です。

・1948年度から1979年度は学費提起に合わせ不定期開催、1979年度からは4年に1回開催されました。近年では2016年度、2018年度に開催しています。

・教育と学生・院生支援の成果を点検し、今後の改革の方向性を確認し、そのうえで学費について議論をおこなってきました。

前回は2018年に開催され、2019年は昨年の議論を継続することを確認しています。

・2018年全学協論議を受けて、大学は「ラーニング・イノベーション」（協創施策）という教学改革プログラムに取り組んでいます。

Beyond Borders

2

R 2019年全学協議会の課題

➤ 2018年全学協議会の議論を継承して、以下の課題について協議が行われます

1. 正課、正課外の学びの充実、協創施策の進捗と具体化

- ① 正課における教育の質向上
- ② 国際化対応、包括的學生支援、ダイバーシティ&インクルージョン
- ③ 正課外での学びの充実

2. キャンパス環境の質向上

3. 大学院教学の充実

- ① TA制度
- ② キャリアパス支援制度の充実
- ③ 研究環境の整備

4. 2020・21年度の学費政策

Beyond Borders

3

R これまでの議論経過（1）

➤ 2018年度の全学協議会では以下の議題について協議し、確認書を交わしました
(確認書の詳細は大学WEBサイトで確認して下さい)

正課における教育の質向上

- ・教学改革の効果検証を行う
- ・さらなるFD（教授法改善）の推進
- ・主体的学びを促す授業づくり
- ・manaba+Rを利用した学習アドバイザー機能導入
- ・manaba+R機能拡充にあたって個人情報保護検討
- ・教養教育における学生の要望反映

留学生支援を含む国際化、包括的學生支援とダイバーシティ&インクルージョンの推進

- ・高校から大学への学びを円滑に支援するSSP（Student Success Program）の拡充
- ・留学生コーディネータによる支援開始
- ・留学生向け英語科目・日本語学習支援の充実
- ・留学生の生活支援の充実（行政、外部機関とも連携）
- ・ジェンダー、セクシュアリティに関する相談体制充実
- ・障害学生支援の体制充実、英語対応の充実
- ・経済支援型奨学金の拡充、国の高等教育費負担軽減新制度に対応した改革準備

Beyond Borders

4

R これまでの議論経過 (2)

正課外での学びの充実

- ・試合等参加証明書の取り扱いを教員に周知徹底する
- ・試合等参加証明書を持参した学生への指導・援助内容を確認
- ・課外自主活動の施設・設備の安全対策窓口を確認

キャンパス環境の質向上

- ・食環境改善にあたってキャンパス懇談会で継続して協議する
- ・キャンパス全面禁煙化の方法について学友会と継続協議する
- ・試験期間期の施設開室時間の拡大について一部を試行的に実施する

大学院教学の充実について

- ・TA制度について
多くの院生がTAを経験できるよう必要な措置をとる
- ・キャリアパス支援制度の充実
第4期キャリアパス形成支援制度、大学院高度化政策予算での取組をさらに充実させる
博士課程後期課程修了後のポスト拡充について新たな枠組みを設ける
- ・研究環境の整備
衣笠、OICのリサーチ commons のスペース不足解消のために、キャンパス特性を考慮して検討・改善を行う

Beyond Borders

5

R 大学の取り組みの進捗

正課における教育の質向上

- ・manaba+Rにマネジメント機能追加
- ・2020年度から教養教育改革、科目の位置づけと到達目標の明確化、アクティブ・ラーニングを組み込んだ「立命館科目」群設置

グローバルな学び

- ・BBPの3キャンパスでの展開
- ・短期海外研修プログラムの1クラス増設
- ・日本語専任教員2名増員

包括的な学習・学生生活支援

- ・教育力強化予算による教育プログラム豊富化
- ・シラバスに授業外学習の指示記載必須化
- ・3キャンパスにSSPコーディネーターを増員配置
- ・オリター活動環境の整備
- ・性的マイナリティ支援のための検討プロジェクト発足
- ・障害学生支援コーディネーターの増員配置
- ・経済支援奨学金の拡充と国の高等教育費負担軽減新制度に対応した改革を準備

正課外での学びの充実、キャンパス環境の質向上

- ・試合等参加証明書の書式改訂、教授会への周知徹底
- ・法改正に対応した受動喫煙防止対策を準備、教職員のキャンパス内禁煙の徹底

大学院教学の充実

- ・博士論文出版助成制度拡充、初任助教・初任研究員制度新設
- ・超創人財育成プログラムの開始、文科省の2019年度卓越大学院プログラムへの再申請

Beyond Borders

6

R 今後の議論の方向性について

➢ 協創施策の後半期（2021-22年度）に向けて、大学は以下のような取り組みを考えています。

学習成果の可視化

- ・「学びと成長レポート」の継続的発表
- ・「学びと成長調査」を他の調査結果と照らし合わせ、学生の意欲、積極性を高める授業のあり方を考える

学習・学生生活支援

- ・包括的な履修履歴システムの整備、学生自身による学びの振り返りを可能に、学習アドバイジングづくり
- ・日英両言語でのライティング・サポートの検討
- ・SSPのさらなる充実
- ・多様な学生に対応した総合的な相談窓口体制づくり

留学生と国際交流

- ・あらたな留学プログラムの開発
- ・言語学習のいっそうの促進

大学院と研究の高度化

- ・大学院の魅力伝え進学者を増やす
- ・キャリアパス支援制度の一層の拡充
- ・大学院教育と研究の高度化推進

Beyond Borders

7

R 2020・21年度の学費政策

➢ 学費政策を取り巻く3つの課題

入学定員管理の厳格化、働き方改革、協創施策の推進

➢ 学部・大学院とも2021年度入学者まで基準授業料を据え置き、現行の授業料改定方式を継続適用します

新年度授業料 = 基準授業料 × (1 + 物価指数アップ率)

➢ 2019年度以前の入学者の2020年度授業料は、入学時に提示している授業料です（変更はありません）

➢ 入学金を30万円から20万円に引き下げます

➢ 新入生特別学費減免（16万円）を廃止します

薬学部薬学科については減免額を5万円として残します

➢ 「2020年度入学者の学費額は「学園通信」P12のとおりです

（2018年度物価指数に基づくアップ率1.4%を用いた授業料改定方式による）

Beyond Borders

8